

平成26年5月19日
大洲河川国道事務所

大洲農業高等学校と一緒に特定外来生物の対策を実施！
～今年も矢落川のオオフサモ繁殖防止の活動を行います～

矢落川において、平成20年度からオオフサモ(特定外来生物)の繁殖が確認されており、大洲農業高等学校と協同して繁殖防止のための活動を行っております。

昨年はオオフサモが繁殖する前の時期に「オオフサモの撤去作業」、「大型土のう設置」を実施することで、繁殖防止を図っております。

今年の活動は昨年実施した対策に対して、オオフサモが繁殖していないかどうかを確認・監視することで、繁殖防止の取り組みを継続していきます。

1. 実施日時：平成26年5月28日(水) 14時00分～15時30分
※洪水(警報発令時)の影響がある場合は、6月2日(月)に延期します。
2. 実施場所：大洲市新谷 地先(矢落川 丁永橋の下流側)
3. 参加予定者：大洲農業高等学校の関係者(教師2名、生徒8名程度を予定)、
国土交通省 大洲河川国道事務所の関係者
4. 活動内容：① 大型土のう(オオフサモ繁殖防止対策)の撤去
② 大型土のうの効果確認(周辺の河川環境の監視)
5. その他：詳細については、別紙の参考資料をご参照ください



問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 Tel: 0893-24-5185(代)
事業対策官 熊岡 博次(くまおか ひろつぐ) (内 208)

肱川出張所 Tel: 0893-25-4649

◎出張所長

溝渕 輝夫(みぞぶち てるお)

◎: 主な問い合わせ先

① オオフサモ繁殖防止の取り組み(経緯)

経緯 大洲農業高等学校と協同して、オオフサモ繁殖防止のための取り組みを継続しております

肱川水系 矢落川では、愛媛県立大洲農業高等学校により平成20年度頃にオオフサモ(特定外来生物)の繁殖が発見されました。国土交通省(工事業者含む)は、矢落川の環境を守るため**大洲農業高校生と協同して平成22年度よりオオフサモ繁殖防止のための様々な取り組みを行っております。**

これまでの取り組み状況

【平成20年度】

- 大洲農業高等学校が矢落川において**オオフサモの繁殖を発見。**

【平成22年度】

- 国土交通省(工事業者含む)と大洲農業高等学校が協同して、**オオフサモの撤去作業を開始。**
- しかし、撤去しきれなかったものが根を出して再生し、完全な根絶に至らず。

【平成23年度】

- オオフサモ繁殖防止のため確立した方法がないため、**現場に試験施工フィールドを設置。**
- オオフサモ成長に関する三大要素(光・水・養分)のうち、**光を遮断する方法により繁殖防止策(大型土のう・敷鉄板の設置)を試みる。**(右中の写真を参照)
- オオフサモの一部は堆肥化(じゃがいも栽培に利用)。

【平成24年度】

- 平成23年度の試験施工により、オオフサモが腐食しており、**一定の効果を確認。**(右下の写真を参照)

- 繁殖範囲が**平成23年度の約35%**となり、繁殖の減少がみられた。
- 『**オオフサモの撤去作業(手作業・建設重機)**』と『**オオフサモの一部堆肥化**』を実施。

【平成25年度】

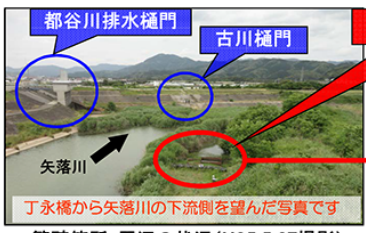
- 平成24年度に続きオオフサモが繁殖していたため、繁殖前の時期に撤去作業を実施。
- 平成25年度の**活動内容の詳細は、次ページのとおり。**



② オオフサモ繁殖防止の取り組み(今年の取り組み)

今年の取り組み内容 大洲農業高等学校(手作業)・国土交通省(建設重機)で協同作業を行いました

平成25年度では、平成24年度よりオオフサモ繁殖が多く見られたため、繁殖する前の時期に、昨年度と同様の撤去作業を行うことで、**繁殖していた範囲のオオフサモを全部撤去**しました。また、平成23年度の試験施工で実施した「大型土のう」設置箇所の一部では2年間繁殖が抑制されていることから、**再度「大型土のう」を設置し、その効果を確認すること**といたしました。



繁殖箇所・周辺の状況(H25.5.27撮影)

繁殖箇所(H25.5.27撮影)

繁殖箇所(撤去後)(H25.6.13撮影)

撤去作業としては、『大洲農業高等学校の生徒による手作業』、『国土交通省関係者による建設重機を利用』して実施いたしました。その結果、**ダンプトラック(荷台 約1.4m³)にほぼ一杯のオオフサモを撤去することができました。**撤去したオオフサモは有効利用するため、大洲農業高等学校で堆肥化し、作物栽培に利用されました。



オオフサモ撤去状況(H25.5.27撮影)

オオフサモ撤去状況(H25.5.27撮影)

撤去したオオフサモ(H25.5.27撮影)

③ オオフサモ繁殖防止の取り組み(今年の展開)

今年の展開 ▶ オオフサモの繁殖防止効果の確認を行い、矢落川の環境を監視していきます

昨年の取り組みで、繁殖するオオフサモは全部撤去することができました。しかし、オオフサモは繁殖力が強いので、再繁殖する恐れがあり、在来植物や生物への悪影響・洪水時の流水阻害・樋門施設操作等への問題が発生する可能性があります。

したがって、国土交通省は大洲農業高等学校と協同して、**肱川・矢落川の環境を守るため、河川環境の監視・保全対策を継続**してきている状況です。



昨年の取り組み時の集合写真 (H25.5.27撮影)

今年の展開としては、オオフサモの**繁殖防止対策(大型土のう)**の効果を確認します。そのため、**国土交通省関係者の建設重機も活用して、大型土のうを撤去してオオフサモの有無を観察**します。現地を確認した効果を基に、今後も特定外来生物から矢落川を守るため、河川環境の監視を継続していきます。

繁殖防止を期待！
平成26年5月28日に効果を確認！



オオフサモ撤去前 (H25.5.27撮影)



オオフサモ撤去後 (H25.5.30撮影)



オオフサモが多く生えていた地点等に大型土のうを設置

オオフサモ撤去後 (H25.6.13撮影)

④ オオフサモ繁殖防止の取り組み(場所のご案内)

場所のご案内 ▶ 矢落川にかかる丁永橋の近く(橋の下流側の河川内)で活動します



この地図は測量法第29条に基づく複製承認を得て、国土地理院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(平19四複、第5号)を一部転載したものである。